

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



北九州 TS

NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

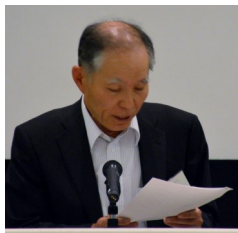
E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.29

平成29年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

吉田 剛



本日はお忙しい中、ご出席いただきました来賓の皆様、会員並びに賛助会員の皆様に心より感謝申し上げます。お陰様でNPO法人北九州テクノサポート(KTS)の第15回総会を開催することができました。前会長の石川様のご病気の後、退任を表明され、3月後任選挙で会長を務めることになりました吉田と申します。理事の経験も浅く、皆様方にはいろいろご迷惑をお掛けすると思っておりますが、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、本会の会員数は多少の波はありますが全体的にはやや減少傾向にあり、より魅力のある組織への体質強化が必要と認識しております。この現状を打破するため、今期3つのスローガンを掲げました。

①**地域貢献で地元頼られる存在になろう!**: KTS創立の原点である技術領域での貢献を行いながら、少しずつ支援領域や地域を拡大し、多様なニーズに対応できるよう、絶えざる研鑽を積みご期待に応える努力を重ねます。

②**活き活きと会員が活躍する場を拡大しよう!**: 会員の皆様が活き活きとやりがいのある仕事に取組めるよう関係先の開拓と連携を強化します。同時に、KTS内部が相互に協力して力を発揮する場を強化します。近年、40~50代の会員も増え、活動の力強い原動力となりつつあります。この方々の活躍の場を広げると共に、一部の方に偏っていた活動はより多くの会員が参加しやすいように、既存の**8グループ活動**の場を創意工夫し活性化します。併せて、地元の皆様に喜んでいただける我々の独自サービスは何かを追及します。

③**社会的課題に取組む先駆者になろう!**: 長寿はめでたいことではありますが、体力低下による介護等ニーズが高まります。この問題にどう取り組んで行くか社会的課題です。KTSには80代でも活き活きと活躍されている方も沢山おられます。残念ながら病気になる活動も休まされる方もありました。健康寿命延伸、生涯現役の理想に向け、健康維持のため「心身の鍛錬」や「食生活改善」等への関心を深め、これらに先駆的に取組まれている「ヘルスケア産業推進協議会」等とも連携して、健康長寿の実践の場をつくります。今後のKTSの活動にご支援ご協力を宜しくお願い致します。

Topics.1

平成29年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成29年6月8日(木)に北九州テクノセンターにおきまして、平成29年度総会(第15回)が開催されました。冒頭、吉田会長の挨拶につづいて議長選出の後、次の3つの議案について報告、採択が行われ、すべて異議なく了承されました。

第1号議案(平成28年度事業報告)

第2号議案(平成29年度事業計画)

第3号議案(役員改選)



NPO KTS会員・産学官有志一同

平成28年度事業報告

平成28年の日本経済は、一部の企業の盛衰はあるものの景気は好転基調にあり、大企業を中心に企業収益は改善され、雇用・所得環境も好転し一部には人手不足が顕著なところがあるとされている。一方、イギリスのEU離脱や米国トランプ政権への移行は保護主義の強まりを示唆し、グローバル世界経済への悪影響や中国経済成長率低下等景気の不安要因も多く、先行きは不透明な状況にある。

県内中小企業においては、顧客の事業構造の変化による需要の多様化、人件費高騰と人材不足、需要多様化への対応遅れによる販売不振など厳しい現実がある。この様な経済社会環境の中で、NPO法人 北九州テクノサポートは、多様な専門キャリアのプロ集団であり、微力ながら、地域産業の振興、活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開して来た。(2ページに記載)

平成29年度事業計画

NPOテクノサポートは「ものづくりの支援事業を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」の理念の下、支援を必要とする企業(特に中小企業)の課題解決に協力して成長を応援し、北九州地域の一層の発展に貢献することを目指してきた。一方、会員は北九州市以外からも集まり、支援地域も北九州市周辺から北部九州へ拡大してきた。

これら状況を踏まえ、活動の中心を北九州地域としながらも、領域を広げ、県下、またその周辺の地域へと拡大し活躍の場を広げる。

進め方: 北九州産業人材育成フォーラム事業支援、北九州商工会議所アドバイザー等を介して、各Gr相互協力・支援の下に、各会員の保有する豊かな知識、経験、目利き力、人脈等を糧として具体的かつスピード感を持って、ものづくり中小企業を中心に産業界や地域大学・高専の学界ニーズおよび国・県・市行政機関の施策に対応していく。

また、テクノフェア等の支援・省エネ取組支援、EA21の活動を通じて地元企業との関わりを深め、地域の成長・発展に役立つ支援を行う。

(実施計画は6ページに記載)

役員紹介

平成29年7月1日現在

会長	吉田 剛
事務局長	小林 敏郎
副会長	重藤 将美、藤原 利久
	山本 倅暉

各支援Gr.長

技術経営ものづくり支援Gr.長	石川 浩
産学官連携人材育成支援Gr.長	影山 隆雄
環境・省エネ支援Gr.長	山本 倅暉
ISO・EA21支援Gr.長	松尾 民憲
PC活用支援Gr.長	松隈 齊
販路開拓ビジネス支援Gr.長	藤原利久
広報・デザイン支援Gr.長	
エコアクション21地域事務局福岡	藤原 成種

理事

石井 剛、石川 浩、江副 綏人、影山 隆雄、小林 敏郎、重藤 将美、藤原 正昭、藤原 成種、藤原 利久、松尾 民憲、松隈 齊、山本 倅暉、吉田 剛、(新)宮崎 孝三、(新)林 慶三郎

監事: 磯村 福義、小野 晃一

平成29年6月8日総会で理事・監事が選任された



平成29年度NPO KTS総会風景



NPO KTS 懇親会風景

Topics.2



来賓挨拶：福岡県 商工部中小企業技術振興課長 赤尾 哲之 様

北九州テクノサポートの記念すべき第15回の通常総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

貴団体におかれましては、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念のもと、豊富な経験と知識・技術を有する先輩方の力を結集し、技術開発や産学連携など様々な支援を通じて、本県ものづくり産業の振興にご尽力いただいております。

吉田会長をはじめ、関係者の皆様の熱心な活動に心から御礼申し上げます。

さて、本県では、ものづくり企業の皆様を支援することを目的に「福岡県ものづくり中小企業推進会議」を昨年3月に設立しました。

これまで、企業の皆様は必要に応じて個別の支援機関の支援を各々活用されていましたが、この推進会議では、会員である複数の支援機関が連携し、「生産カイゼン」「人材育成・確保」「知的財産」「技術指導」といった支援をシームレスで繋いで企業1社1社のステージに応じた的確な支援を実施してまいります。

また、本年3月には、魅力ある県内ものづくり中小企業を紹介する冊子「福岡県ものづくりモノ語り100」を発表しました。掲載企業を紹介する特集記事が先月から西日本新聞において連載されるなど、好評を博しております。

県としましては、この推進会議の取組みをさらに進めるとともに、工業技術センターによる技術開発支援や、ものづくり補助金による新製品の開発支援、さらにはグリーンアジア国際戦略総合特区の活用などを通じ、県内ものづくり中小企業のさらなる発展に努めてまいります。

最後に北九州テクノサポートのさらなるご発展と、お集まりの皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

代読 中小企業技術振興課 課長技術補佐 吉海 和正 様

平成28年度 事業報告

平成28年度の主な活動

■主要活動実績は以下の通り（詳細は3・4頁をご覧ください）

- 北九州商工会議所のアドバイザー活動の推進（北九州商工会議所）
- 苅田町まちづくり企業調査支援（苅田町商工会議所）
 - ①苅田町ものづくり企業調査 ②自動車産業動向調査
- 北九州地域産業人材育成フォーラム
 - 地域連携型インターンシップ支援（北九州活性化協議会）
- 中小企業テクノフェアin九州2016販路開拓事業（西日本産業貿易コンベンション協会）
- 戦略的基盤技術高度化支援事業の評価・支援事業（九州経済産業局/地域計画建築研究所）
- 「第4次産業革命：IoT/AI」勉強会（KTS、地元企業、北九州市関係者他）
- 事業化・マッチングプロデューサー（九州経済産業局/日鉄住金テクノロジー）
- エコアクション21導入セミナー（北九州市環境局環境モデル都市推進室 福岡県環境部環境保全課）
- エコアクション21実践講座 計4回実施（同上）
- エコアクション21フォローアップセミナー（エコアクション21九州・沖縄ブロック）
- ISO認証取得支援、内部監査員教育（A社、K社）
- 広報誌（夏号/冬号）の発行（県、市、FAIS、大学、KTS賛助会員企業等）

各支援グループの活動報告

平成28年度各支援グループの活動報告

1. 技術経営ものづくり支援Gr

H16年11月発足以来続けてきた「福岡ものづくり産業振興会議」がH28年3月に発展的に解消して「福岡県ものづくり中小企業推進会議」が新たに設立され、「福岡ものづくり産業振興会議」で実行してきた「ものづくりアドバイザー制度」はH28年3月末で終了となった。

一方、北九州商工会議所アドバイザー派遣事業の方は、「ものづくり・商業・サービス革新事業補正予算」申請書作成支援やEA21認証取得支援など着実に成果が出て来ている。

ロボット導入活用による中小企業の体質改善支援の方は、H28年度は具体的な案件が無く次年度に持ち越すことになった。

1-1.「北九州商工会議所アドバイザー派遣事業」の推進

KTS登録アドバイザー36名による中小企業の技術並びに経営相談支援の実施を行った。（実績6名）

1-2.「ものづくり補助金」申請関連支援業務

ものづくり補助金申請を考えている中小企業事業者への申請書の作成指導支援の実施を行った。（支援企業十数社に対し個別指導）

1-3.H28年度九州地域ものづくり中小企業事業化支援業務

中小企業支援策として、全国の大規模展示会出展支援に伴い、企業訪問し販売上の課題解決のためのハンズオン支援業務（2名）

1-4.戦略的基盤技術高度化支援事業の評価・支援事業

事業の進捗状況の中間評価、課題等に対するアドバイスを行う業務（ビューアレビュー役）（3名）

2. 産学官連携人材育成支援Gr

北九州の地域連携型インターンシップ事業では、夏休み期間中の1～2週間で実施する研修型インターンシップに関してコーディネータ（KTS会員）11名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し250社の企業を訪問し、受入れ企業88社を開拓した。

➡次ページへ続く

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.29広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL：093-871-1631(代) FAX：093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有 蘭 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>

Topics.3



来賓挨拶：北九州市 産業経済局長 加茂野 秀一 様

NPO法人 北九州テクノサポート 第15回通常総会のご開催を心よりお喜び申し上げます。

会員のみならずには、日頃より技術・知識・経験を活かした地域企業への技術支援はもとより、企業間のビジネスマッチングによる販売促進支援など、本市の産業振興に大いに貢献いただいております。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

さて、日本の生産年齢人口は、今後、急激に減少していくことが見込まれており、働き手の不足は、企業の経営状況や市民生活に大きな影響を及ぼします。そこで本市では、「生産性改革」を今後の産業政策の大きな柱として位置づけ、スピード感を持ってこの改革を支援する様々な取り組みを推進することで、地方における生産性改革のフロントランナーを目指します。

また、「住みよいまち・北九州市」を発信し、オール北九州で地方創生を加速させる取組を推進していますが、その実現には女性や若者を始めとした新しい人の流れを創ることが重要です。

このため、市内に定住し、市内企業へ就職する新卒者等の奨学金の返済支援や中小製造業・建設業における女性の職場環境改善の支援などを実施し、女性や若者の地元就職・定着に向けた新たな取組を進めていきます。

今後とも、地域経済の発展に全力を尽くし、新たな雇用の創出や市民所得の向上に努めてまいります。皆様には、引き続き市政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに北九州テクノサポートの今後のますますのご発展と、お集りの皆様のご健勝を記念して、挨拶とさせていただきます。

代読：中小企業振興課 中小企業係長 徳永 準也 様

平成28年度 各支援グループの活動実績

又、平成28年12月に北九州市が産業人材育成の特区内に採択されたことから、教育効果が大きい長期(3~6ヶ月間)の実践型インターンシップを平成29年度から北九州地域でも実施することになり、その事前準備として対象企業の選定、誘致、モデルプログラムとガイドラインの作成についてコーディネータ5名体制で61社を訪問し16社から17件の実施計画を得た。

平成28年1月に会員相互の自己研鑽の場として立ち上げた「第4次産業革命」勉強会は、会員だけでなく行政や企業関係者からも大きな関心を集めて、講師も専門家を招聘して隔月毎に合計6回開催した。

3. 環境・省エネ支援Gr

3-1 環境支援活動

北九州テクノサポートとして、北九州市、福岡県その他環境支援財団の環境助成事業に対し、環境の保護保全等を主体に取り組むよう努力して助成事業に公募したが結果は実らなかった。ただ、9月から半年間の「まちエネ大学」での環境テーマへの取組や福岡大学の5回にわたるエコスクールやエコ塾等を受講する機会があり、今後の環境支援活動に役立てられる。

3-2 省エネルギーセンター業務への対応

省エネルギーセンターからの依頼業務に対応した。省エネ診断(5件/2名)、エネルギー管理指導への対応(6件/1名)。エコ診断ネットワーク関係の依頼業務(定期報告書作成支援)対応(6件/2名)。Y公民館の旧式エアコンの取替に関する見積を専門業者に依頼した。

4. ISO・EA21支援Gr

平成28年度のISO支援活動の結果は、ISO2015年版発行の好機にも関わらず4件だけであった。昨年度よりは件数・受注額とも増加したが、未だ充分な活動には至っていない。この要因としては、コンサル対象として選考する企業も認証登録後の活動が長い企業が多く、ISO認証機関による規格改訂への対応講習を受講したり、或は自社による研修会を実施するなど、活動レベルの高い現状が推測される。

上述のように企業の自社能力が高くなっている実態に併せ、支援を希望している企業の情報及び認知の不足もあり、営業活動が的確に出来ていない現実も反省点となる。

ISOビジネスに対する市場競争は、熾烈化しているが、営利を目的としないKTSとしてはまだまだ支援活動の場があると思われる。

EA21支援活動については、小規模企業の活動意義や社会的貢献など認識は希薄な現状にあるが、このような外的動向に対して、北九州地域においては、当地域事務局福岡が中核となり「エコアクション21導入セミナー、自治体イニシアティブ・プログラム実践講座、ホームページによる広報及び団体普及協力要請・市町村への普及活動」など鋭意実施してきた。これら活動の担い手としてKTSに所属している審査人の協力により、新規企業の獲得及び審査収入の確保などEA21事業活動による一定の成果と信頼性を継続している。また、このような背景より審査人に求められる審査技術やコンサルティング技術の共有化及びレベルアップを目指した相互研鑽を3回実施した。

EA21のPR活動では、年1回の「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」11号の発行、及び認証取得事業者の中から環境改善活動の取り組みが優れている事業者を推薦し、北九州市長から感謝状を授与して貰うなどEA21認知度の向上・普及、及び認証登録事業者の活動紹介・支援などを継続的に実施した。

5. PC活用支援Gr

主にKTS内の事業に係わる業務において、PC(パソコン)を使って行う集計や報告書の作成をサポートした。例年実施している「テクノフェアin九州」のコーディネータ別の訪問計画や実績の集計・整理の他、KTSのホームページをリニューアルしようということで、事務局と共にその掲載内容を全面的に見直し、内容の更新を行っている。

また、H28年度後半は「苅田町の地方創生事業」でこれまでにない大型の受託契約が整い、販路開拓ビジネス支援Grと共に新たな取り組みが必要となった。この事業は苅田町のものづくり企業約100社に対して行った合計700頁に及ぶアンケート調査結果を若手会員の協力を得てデータベース化し、その分析とグラフ化を行って、報告書の作成を支援した。

一方で、今年度の活動計画に挙げていた地域の中小企業の「PCを活用した業務改善支援」や「ホームページ作成・更新支援」については、2案件に対応したが、成約には到らず実績を残すことができなかった。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.29広告3-4



すなおに謙虚に無限の未来をひらいていこう
株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISOマネジメントシステムを適用した仕組みを実践し、環境改善にエコアクション21を運用・活用

◆代表者 取締役社長 小原 悟
◆本社・工場：福岡県京都郡苅田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
http://www.hoyo-s.co.jp



エコアクション21
認証・登録番号
0008225



限りある資源を未来に 地球環境に貢献
株式会社コーセイジャパン

(新商品) 低コスト高効率LED照明

当社は、高効率LED照明や省エネ安定器等の開発および製造を行い、全国で販売を実施しております。

この度、福岡県工業技術センター機械電子研究所との共同開発で、CAE(熱流体解析、照明解析)を活用し、最適なヒートシンクとリフレクタの設計、温度と照明特性測定、構造の見直しおよび部品の共通化を図ることで、30%のコストダウンが実現しました。

本開発による事業拡大を目指して、一昨年東京営業所を新設(1名新規雇用)、昨春に本社新社屋(福岡県苅田町)を建設し、新型LED照明の生産および品質管理の強化を図っております。

http://www.kosei-japan.com

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町港町8-11
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141



意匠登録1537579号
実用新案第3197902号



Topics.4

来賓挨拶：公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央 様



このたびは、特定非営利活動法人 北九州テクノサポート第15回通常総会にお招きいただきありがとうございます。開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

貴会におかれましては、設立以来、地域企業の支援や産学連携のコーディネート活動など幅広くご活躍され、北九州地域の産業振興に大いに貢献していただいております。また、日頃より「公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS)」の事業に対して、ご理解・ご協力賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

FAISでは、北九州市が策定した「北九州市新成長戦略」の目標像である「新たな技術と豊かな生活を創り出す アジアの先端産業都市」の実現に向けて、地域産業の知的基盤である学研都市を中心とした地域企業の技術開発とその事業化の支援、中小企業支援センターを中心とした中小企業の経営支援などに、取り組んでいます。

中でも、中小企業支援センターでは、「北九州市新成長戦略」に掲げられた5つの方向性のうち、特に「地域企業が元気に活動し続ける環境整備」の推進に向け、平成28年度は経営者等からの相談に393件対応するとともに、経営課題解決に向けて延べ26社に135回、専門家を派遣するなど、地域の中小企業・ベンチャー企業の支援拠点としての活動を行っています。今後さらに、地域企業の優れた製品や技術の販売支援、商談会の開催など進めていくとともに、きめ細かな創業支援を行い、地域企業のビジネスチャンス拡大、ひいては地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

北九州テクノサポートの皆様には、企業OBとしての豊富な経験や技術、専門知識を生かして、私どもの活動への支援を含め、今後さらに大きな力をお貸ししていただきたいと思います。最後になりますが、特定非営利活動法人 北九州テクノサポートの皆様方の今後のさらなるご活躍と、貴会のますますのご発展を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

代読：中小企業・ベンチャー支援部 経営支援課長 副島 正貴 様

平成28年度 各支援グループの活動実績

6. 販路開拓ビジネス支援Gr

中小企業テクノフェアin九州2016

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会(H29.4.1より(公財)北九州観光コンベンション協会)主催の展示会におけるビジネスマッチング(BM)支援事業をKTSが8年連続で受託した。主催者以外の団体がBM支援を行なうのは全国でも貴重な存在である。8年前は九州だけの30社の出展であったが昨年度は九州以外からの出展社が最高の37.5%にもなり地元川下企業と関わりが着実に大きくなった。北九州及び下関商工会議所の支援参加もあり出展企業は60社余りとなり、全国版の展示会となった。一昨年試行的に大阪の展示会に向いて出展企業を3社を誘致したが、昨年度は、第54回金沢機械見本市(150社出展)に会員有志が出向いて3社を誘致した上に、KTS独自で地元企業も4社を誘致した。KTS主催の出展企業説明会も4回行い、計16社からの説明を聞くことが出来、企業理解に大いに役立った。更に川下企業に事前および来場要請訪問時に次回出展して欲しい企業ニーズの調査も初めて行った。高度開発製品だけでなく、人材不足から自動化設備や日本で少なくなった一般製造や製缶等の出展を希望する声もあった。今後、全国版展示会に相応しいBM支援要請が強くなりKTSも更なる努力が必要になった。

■エコアクション21地域事務局福岡

- (1)エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム(北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティング)を開催し、20社を指導した。それに先駆け25社に対し導入セミナーを実施した。
- (2)今年度は合計248事業者からの審査申し込みを受け、審査人を選任して審査した上、毎月一度判定委員会を開催して審議し結果を中央事務局宛報告し、そのコメントに対応をした。
- (3)エコアクション21認証取得事業者フォローアップセミナーを北九州市にて開催し28社に参加して貰った。
- (4)北九州市長から「環境にやさしい事業所」として感謝状を授与して貰う事業者をエコアクション21認証取得事業者中から選考し、2事業者を市へ上申し、感謝状を授与して貰った。
- (5)エコアクション21に10年間熱心に取り組んできた16事業者が感謝状を中央事務局から授与された。
- (6)Eco-CRIP事業推進に取り組み4社を指導した。

注)Eco-CRIP:Eco-Action21 CO₂ Reduction Initiative Program

■苅田商工会議所「苅田町のづくり企業調査」

従来から苅田商工会議所とは様々な交流や相談を行なってきたが、今回、地方創生事業として下記「苅田町のづくり企業調査」支援の2件を受託した。

①苅田町のづくり企業調査：苅田商工会議所提供の商工会会員及び苅田町在住のものづくり企業計125社を対象に会議所作成の調査票(KTS一部支援)をもとに、KTS訪問調査者13名、データベース化他3名、計16名で対応した。訪問調査者は原則として事前説明と本調査の計2回を各企業を訪問した。

各社の事業所概要・主たる業種・製造品・生産形態・納入先・業況・今後の事業展望等の他、現在抱えている課題や雇用問題(非常事態にある)などについてアンケートへの回答を依頼し、その実態・要望を調査した。訪問予約の苦勞や複雑な内容・調査者の体調不良にも関わらず合計100社(80%)の調査を行った。これらを基にデータベースを作成し、調査内容の集計・分析・グラフ化を行い、まとめ役のコメントを付加して報告書を作成した。

このデータベースはエクセルで作成しているが、調査希望項目毎に検索できるような仕組みとした。苅田町が最も関心のある自動車関係企業は38社(38%)もあり大きな比率である。

②苅田町自動車産業の動向調査：自動車の生産量は九州全域で137万台に対し、苅田町の日産系だけでも56万台(41%)あり、自動車は最重要産業である。自動車産業は環境規制・省エネ・次世代自動車の開発競争に加え、スマートカー及びそれら関係する企業が統合・提携・連携する激動の世界となっている。

動向調査は苅田町の企業だけでなく、行政機関や大学の研究機関からもヒアリングし、環境規制など次世代自動車やスマートカーなどソフト企業が連携する激動の世界となった。そこに着目して世界の動向を行政機関や大学の研究機関からもヒアリングし、多くの文献を調査してまとめ、苅田町関係自動車企業と更に戦略的な協働が必要ことを苅田町へ提案した(KTS3名担当)。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.29広告5-6

シズメット株式会社

気象庁予報業務許可 第51号

感動を創造する 気象予報会社です。

私たちの仕事は、地球と真正面から向き合う仕事。

最新のテクノロジーと豊富な経験が必要。

私たちシズメット株式会社は、そのどちらも欠かすことなく、気象に関する皆さまのあらゆるニーズに応えていきます。

気象予報業務許可 第51号

最新型と比較して小型・軽量気象予報器
・設置が簡単で低コスト
・いつでも何処でも観測データが閲覧可能

警報装置
・従来品と異なり表示内容を任意に表示可能
・設置が簡単で低コスト
・防災に関わる気象情報を瞬時に表示可能

商号 シズメット株式会社
〒812-0979
所在地 北九州市小倉南区磯崎町2丁目8番11号
TEL:(093)965-1033 FAX:(093)965-1055
URL:http://www.sysmet.co.jp/

千草ホテル

Chigusa Hotel

Since 1944
次の100年へ

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
http://www.chigusa.co.jp

特別講演会

演題:「素材・加工メーカーのブランド戦略と人材育成について」 講演者: 東洋ステンレス研磨工業株式会社

代表取締役社長 門谷 豊 様



本日は、貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。私共の取組が、皆様方のお役に立てば幸いです。

1. 当社について: 当社は、私の祖父である門谷 博が、戦後、住友金属工業(株)小倉製造所に永年勤務し、その後日本ステンレス(株)福岡営業所長に抜擢され福岡市に移りましたが、定年後、ステンレスの需要拡大を願い、研磨技術の面から新しい需要を開発するために東洋ステンレス研磨工業(株)を昭和41年5月に創業しました。福岡で行う研磨作業は、多様なニーズに応える必要があり、技術も東京に負けてはならないという環境の中で育ちましたので、50年経つと色々な技術を組合せた複合研磨ができる工場になっていました。このことに気が付いたことが、当社の飛躍の契機になっています。

2. 代表的な採用具体事例: 世界的な建築デザイナーFrank O. Gehryの大型プロジェクトであるウォルトデズニーコンサートホールやニューヨークのNew York by Gehryの外装建材としてそれぞれ20,000m²と27,000m²を供給しました。最近では、銀座の有名ジュエリー店の内装などに採用されています。新日鐵住金(株)と開発したイオン皮膜によるゴールドチタン建材は、金(Au)に代って文化財を守る新しいゴールド建材として、熊本県の龍王神社や弘法大師の六波羅蜜寺などにも採用されています。

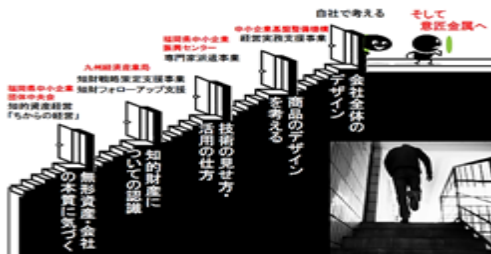
3. モチベーションの向上と特許・商標登録・ブランドコンセプト確立の経緯: 研磨業の一般的イメージは、暗い、汚い、きつい、ただ磨くだけということで、なかなか若い人に来てもらえない課題がありました。当社は、このイメージを一新して、モチベーションの向上に取り組んでいます。その一つは人材育成ですが、当社がどのように社会の役に立っているか、社会から認められるために何をやるのか、自分達の技術は何かということ社内教育として行っています。また、ステンレスを扱う金属屋なのに社員証がプラスチックで良いのかということで、黄金チタンで作った小判型の社員証を3ヶ月の研修期間を終えた新入社員に付与しています。さらに、「職場先輩制度」に合わせて新人社員と職場先輩との「交換ノート」を取り入れていること、全員で「さん付け運動」を展開しています。この運動により互いを尊重し助け合う雰囲気になり、離職率が大幅に減少する効果が得られています。技術面では、平成15年度に九州工業大学や九州大学からご指導頂きながら新しい技術を取り入れて、新日鐵住金(株)のご協力の下で種々の技術実用化を図って来ており、現在も共同研究開発を行っています。さらに知的資産経営や知的戦略面では、次に述べるように当社にとって扉を開けるような種々の指導・支援を行政機関から頂き、ものづくり日本大賞や意匠登録等へのチャレンジしたことが、モチベーションの向上に大きく繋がったと考えています。



小判型の社員証

第一の扉は、平成22年度の福岡県中小企業団体中央会による「知的資産経営」について秋月室長と園田先生から指導を頂き、中小零細企業の力の源泉は【人材】であり、将来を見据えた次世代リーダーの育成に取り組まれました。これにより、培ってきた歴史、技術、人脈、商圏等、会社の歩みとともに創り上げた「無形のちから」を認識でき、自分達の技術を守る、育てる、使いこなす事に目覚め、社内「知的財産」という認識が生まれました。

第二の扉は、九州経済産業局の平成22年度の知財戦略策定支援事業により、お客様の技術や製品の中に当社の技術がどのように関わっているのかを知財の面から気にするようになりました。このことは、お客様との信頼関係を深める一番の収穫だと思っています。平成23年度の知財フォローアップ支援では、堀田先生からの指導を受けて、「金属化粧師」を商標登録した直後に、コア技術である「複合研磨技術」を見える化した商標「mako」も商標登録しました。商標登録する事で当社は金属化粧師と言う肩書を作って職人の意識を変え、研磨と言う作業が化粧をすると言う創作に変えることが出来ました。平成24年度には、九州工業大学との産学連携で確立した「希少金属を不要とした高耐食透明絶縁薄膜の開発」により 大谷美術館賞を受賞することが出来ました。



第三の扉は、平成23年9月から実施した福岡県中小企業振興センターの専門家派遣事業による「技術見える化」への取組でした。ここでは、クリエイターの描いたイメージを研磨技術により具現化した傘立て「梅陽」を製作して第13回福岡県産業デザイン賞へ出展しましたが、酷評を受ける結果になりました。せっかく最高の技術を詰め込んで、伝わらなくては意味がないと言う貴重な教訓を得ました。

第四の扉は、(独)中小企業基盤整備機構の経営実務支援事業として平成23年12月より園田先生から商品開発とデザイン、ブランドについて初歩的なところから指導を受けました。よい商品は、企業が主体性を持ってなすべきで、他人任せではダメなこと、ブランド価値を目に見えるロゴやパッケージと差別化されたブランド価値を消費者の頭、心の中に育てていく事であり、デザインとは会社の風土や歴史全てを含んだ、企業そのものの設計である事を理解しました。そこで、全ての商品、技術を「mako」というブランドに統一し、総合的なブランディング戦略を始めました。

第五の扉は、自分達で「当社の本当の商品はなんだろう?」と考えることで、自社の技術がお役に立ち、自社の技術が理解頂け、社会のお役に立つ、社会が求めていただける商品は、本業回帰であることに気づきました。しかし、単純な本業回帰ではなく、これまでに勉強させて頂きました創意工夫やデザインを駆使した「ニッポン ノ 意匠金属」であり、金属の表面をキャンパスの様に建築家やクリエイターのイメージを具現化する新しいカテゴリー意匠金属の開発であることに思いが至りました。この付加価値の高い商品は、国内外の展示会に出展され、大手建築事務所やゼネコンさんからも声が掛かるようになり、従業員に自信を与えモチベーション向上に大いに繋がりました。さらに現在は、日本が生み出した最先端の次世代ステンレスWhite Stainlessと意匠研磨加工技術を組合わせて海外競争力の高い商品開発に取り組んでいます。



4. 最後に: 各機関から様々な指導を頂きながら社員と共に「見えない力」を理解し、見えない力を「見える力」に変えて、いろいろな回り道をしながら、知財を身体で体感して人材育成、企業精神、ブランドを創り上げて参りました。ようやく、当社が一番輝くステージが見えてくるようになりました。私共の事例がお役に立てれば光栄です。

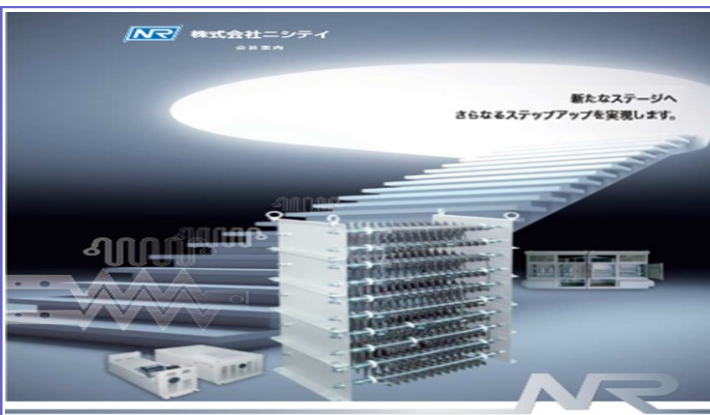
北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信誌Vol.29広告7-8



公益財団法人 北九州活性化協議会
TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636
http://www.kpec.or.jp/jinzel/

KPECの主な活動

<p>もったいない総研</p> <p>貞にゆとりのある21世紀のライフスタイルを求める研究所「もったいない総研」へようこそ!</p>	<p>産業人材育成</p> <p>北九州地域の中間・中小企業と地元理系大学生をつなげる地域ぐるみの産業人材育成</p>	<p>小学校応援</p> <p>子どもの教育を企業も一緒に頑張って積極的に支援します</p>
<p>1000人の夢資金</p> <p>北九州をもっと楽しく、このまちの心豊かな未来を一緒に目指そう</p>	<p>北九州インベーションギャラリー</p> <p>技術とデザインを融合させた数々のイノベーションを盛り込んだ北九州の先人達の知の遺産</p>	<p>まちづくり推進事業</p> <p>市民・団体・大学・行政機関等の連携種として北九州の街づくりのための環境づくりを行っています</p>

平成29年度 事業計画

■組織及び運営方針

組織:活動組織は昨年に引き続き7つの支援グループとEA21地域事務局、これらの活動を支えるKTS事務局で構成する。運営は組織区分にとらわれず目的に応じ臨機応変に対処する。

運営方針:本年度は、従来からの商工会議所等のアドバイザー実施数の増大や、九州工業大学産学連携センターとの連携強化を進める。個別企業との関係ではIoT/AI等の新技術にも取組みこれらを活用したIT課題解決、地域の企業の新製品の販売支援、また、KTSの支援事業を支える人材の入会勧誘の促進、HP充実等により新たな支援活動を興し、これら諸活動を連携させてKTS全体としての成果につながる活動の充実を図る。

■実施計画

1. 技術経営ものづくり支援Gr

地域中小企業のニーズにマッチした技術経営ものづくり支援を推進する。
(1) 中小企業の諸々の技術課題並びに経営にまつわるニーズに的確に対応すると共に幅広い展開を目指して下記支援活動を推進する。

- ① 企業の技術課題の解決並びに技術の改善向上支援
ものづくり生産活動の改善(生産管理 品質管理 自動化 コストダウン等)のものづくり支援
 - ② 生産現場の改善・生産性向上のための自動化支援(ロボット導入等々)
 - ③ 新製品・新技術開発への支援 —— 固有技術の更なる改良改善 ~新技術開発 ~新製品開発
- (2) 従来の「技術課題に主眼を置いた支援活動」から更に幅広く生産性向上・改善を目指した支援へと活動を展開して中小企業の経営体質向上を目指した各種支援を展開する。
- (3) 最終的な目標として「ものづくりの街 北九州」の特徴を生かし「未来型産業都市」を目指した活動を生み出し展開していきたい。そのためには個々の技術にとらわれない連携型の総合技術で北九州地域に基幹産業を誘致して、北九州地域の中小企業が持つ優れた固有技術(製作・加工技術、計測・検査技術等)を集約した新商品開発・販売の会社が生まれることを目標としたいと考える。

2. 産学官連携人材育成支援Gr

- (1) 地域企業のニーズにマッチした産学官連携人材育成活動支援事業を展開する。
- (2) 競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して北九州地域の持続的な発展のため、大学界と産業界、地域社会が支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図る『北九州地域産業人材育成フォーラム』への積極的な支援を行う。
- (3) 「第4次産業革命」に係るIoT、M2M、AI、クラウドなどの要素技術の活用は、平成28年度補正予算 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金の第四次産業革命型や平成29年度サイオン事業に不可欠になっている。このニーズに応えるため自己研鑽の場として勉強会を設けて中小企業支援能力のレベルアップを図る。地域企業や大学、北九州市やFAIS、福岡県、中小企業基盤整備機構九州本部にもこの研鑽の場への参加を呼びかけて、新しい事業創出や関連助成事業への申請の支援を行う。

3. 環境・省エネ支援Gr

地域のニーズにマッチした環境課題へ市・県・NPO・協会等と協働で団体の助成金や寄付金による事業として取り組み解決する。また、中小企業を対象に省エネ・再生可能エネルギーの活用と普及活動を推進する。

(1) 環境助成事業

北九州テクノサポートとして、北九州市、福岡県、地球環境基金及び大企業の環境支援財団の環境助成事業の中で、大気・水・土壌等自然環境の浄化、自然エネルギーの活用、環境の保護保全、リサイクル、地域社会の活性化、社会福祉の増進等で当NPOが技術的な調査・分析、研究・開発・実践を行うため官民の助成事業に応募して取組む。

(2) 省エネ支援事業

省エネルギーセンターからの依頼業務への対応として、昨年度並みの省エネ診断やエネルギー管理指導を行う。エコ診断ネットワーク関係業務への対応も昨年同様実施する。本年はKTS独自に、地元企業の省エネ活動への支援も進める。

4. ISO・EA21支援Gr

ISO認証取得事業者は、2015年のISO国際規格改訂に伴い、改訂規格での審査を受審しなければならない猶予期限(2018年9月)が目前となる時期を迎えている。この規格改訂の意図は、組織の日常業務とマネジメントシステムの融合、及びシステムの運用と事業計画との一体化です。既に認証を取得している組織及びこれから認証を取得しようとしている組織において、リスクの回避と機会への取り組みが要求されている。EA21活動の普及および有効な審査の実践と併せて、ISO GrとEA21地域事務局とが連携した支援活動を行う。また、ISO認証登録企業を含め、支援対象企業との綿密な情報収集に努め、支援活動の場の獲得と質の高い活動展開を継続維持する。

5. PC活用支援Gr

H29年度は、昨年より取りかかっているKTSホームページのリニューアルを完成する。そのためにはKTS事務局をはじめ、各支援Grの協力が必要であり、よろしくお願する。今年の新しい取り組みとしては、これまでのように単にExcel機能を活用した業務の効率化とかホームページの更新支援というだけではなく、IoT活用に関連した支援も取り込み、活動の内容を広げる。

6. 販路開拓ビジネス支援Gr

中小企業テクノフェアin九州2017 (公財)北九州観光コンベンション協会主催の展示会における「ビジネスマッチング(BM)支援事業」をNPO法人北九州テクノサポート(以下KTS)が9年連続で受託した。BM支援事業は全国版の展示会となり協会・出展企業・川下企業の顧客からの期待と責任を感じる。今年も協会と一体になり60社以上の誘致を目標とする。出展企業誘致活動(金沢)や出展企業説明会及びニーズ調査を行なうが、KTSのBM支援の実力アップ(BM支援研修・顧客重視)に重点をおきたい。その為に協会と展示企業(誘致・BM)・川下企業(来場・ニーズ調査)やフォロワーの連携活動を強化し、BM支援力の個人的バラツキの減少も図る。

7. 広報・デザイン支援Gr

- (1) NPO法人北九州テクノサポートの認知度を高めるための広報誌「KTS通信誌」を年2回発行。
- (2) KTSの活動や情報を伝達する媒体「NPO法人北九州テクノサポート案内」パンフレットを更新。
- (3) KTSの活動支援内容をPRするための情報発信を各支援Grと連携。
- (4) 賛助会員、協力企業等の広報・広告・デザイン等の支援。

■EA21地域事務局福岡

- (1) 自治体イニシアティブ・プログラム(北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティング)を開催する。あわせて導入セミナーを開催する。
 - (2) 認証・登録業務を円滑に推進する。
 - (3) EA21認証取得事業者フォローアップセミナーを開催する。
 - (4) エコアクション21認証登録事業者のうち、北九州市長から感謝状を授与される事業者を選考・上申する。
 - (5) ガイドライン改定に関する事業者説明会を開催する。
 - (6) 全国大会in福岡開催に共催する。(7) Eco-CRIP事業推進に取り組む。
- (注) Eco-CRIP : Eco Action CO2 Reduction Initiative Program

未来型コミュニティは、WIN-WINの法則から創造される!

A.win Eco環境総合研究所

一般社団法人 A.win Eco環境総合研究所は、今後の日本における「コンパクトシティ」に伴う経済社会に対応するための活動を行っています。

- 未来型マーケティング&ビジネスコミュニティの構築
- 未来型ビジネスモデルの構築&起業支援
- 企業及び各種団体のコンサルタント支援&教育支援

お問い合わせは、一般社団法人 A.win Eco環境総合研究所 事務局まで
〒800-0262 福岡県京都府向日町宮久町1-22-23 TEL:093-435-0558 FAX:093-435-0555

年会費:10,000円、会費:一般会員10,000円/月 賛助会員10,000円/月

※A.win ALL(すべて)とWin+ 選択です。単独でWin+Win+の構築にもなり得る法人会員です。

株式会社 エステック21

工場の環境負荷低減(エコロジー)や、トータルコストダウン(エコノミー)を提案します。(例:潤滑、ミスト等)

〒811-4343
福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
TEL & FAX : 093-293-6431
URL : <http://www.s-tech21.biz/>
E-mail : info@s-tech21.biz



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

< 製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中 >
NPO-KTS通信誌Vol.29広告9-11

Matsushima Measure Tech



株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL <http://www.matsushima-m-tech.com>
E-Mail sales@matsushima-m-tech.com

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で世界をリードする金型専門メーカー



株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 祥嗣

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: <http://www.uchidanet.co.jp>



平成29年度 事業活動開始状況

■実践型(長期)インターンシップ事業

平成23年度以来、研修型(短期)インターンシップ(IS)を地元企業中心に実施して、参加学生の地元就職率の向上などに成果を挙げてきました。最近、政府機関と大学の間に将来の産業界を担う若者を育成する教育的効果の高い実践型(長期)ISの調査研究が進展しています。



実践型インターンシップ検討風景

北九州地域でも実践型(長期)ISにご理解を頂いた受入企業16社の賛同のもと、日本の地方におけるISの先端モデル創出を目指して実践型(長期)IS事業を平成29年度から推進することになりました。

■「第4次産業革命」勉強会

IoTやクラウド、AIを活用して、生産性を高める取組みが始まっています。このような新しい技術動向を勉強して中小企業支援に活かしていくことが重要と考えて平成28年1月から隔月開催の自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立ち上げています。

平成29年度は、中小企業がIoTを使いこなすツールとして昨年10月に選定された「スマートものづくり応援ツール」106件を詳しく勉強する計画です。地元の安川情報システム株式会社からはこの応援ツールに2件選定されていますが、写真は、同社セミナールームで開催した第9回勉強会の様子です。



安川情報システムに於ける勉強会

■NPO-KTS 会長退任ご挨拶 理事 石川 浩

この度、会長を退任するに当たり、これまで会員の皆様をはじめ関係機関・団体並びに中小企業の皆様には多大なご支援・ご協力を賜りましたこと、有難く御礼申し上げます。平成24年8月に影山前会長の九州工業大学のURAへの移動に伴う退任の後を引き継ぎ平成29年3月末日まで4年8ヶ月の間、会長職を務めて参りましたが、この間、昨年1月下旬には入院し皆様へご迷惑をお掛け致しました。幸い手術の結果、回復に向かいましたが、高齢化に伴い通院も増えて来ましたのでこの際、若い方へ引き継ぐことに致しました。今日まで支えて頂きました皆様へ重ねて感謝申し上げますと共に、新しい会長・役員の方々への一層のご支援・ご協力をお願い致します。

■「北九州地域産業人材育成事業2017」協力支援

本事業も7年目を迎える「地域連携型インターンシップ」を支援するため3/1~6/10までKTSコーディネーター10名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し200社のものづくり企業を訪問し受入れ企業開拓を実施。

既に受入企業も約90社に達し5校の学生に情報が公開されており準備が着々と進んでいる。

■5月31日には、ひびきの北九大キャンパスに於いて北九大・九工大の2校の学生25名に対し、企業9社、KTS8名でインターンシップ・ミーティングが実施された。



於：北九大ミーティング風景

■6月17日には、西工大小倉キャンパスに於いて九工大・西工大・北九州高専の3校の学生33名に対し、企業12社、KTS8名で「インターンシップ・ミーティング」が実施された。



於：西工大ミーティング風景

各企業別グループに別れて学生と参加企業の担当者とのインターンシップの内容について、具体的説明と学生からの質問・疑問等について自由討議、意見交換等が行われた。

■企業におけるインターンシップの実施は、8月16日から9月30日の間で行われます。参加校は「九州工業大学・北九大国際環境工学部・西日本工業大学・早稲田大学・北九州高専」の学生さんがものづくり企業の現場で研修体験をされます。

今後の予定として11月には、北九州国際会議場にて「インターンシップ実践セミナー」を開催し、受入れ企業から事例発表と経営戦略としてのパネルディスカッションが行われる予定です。

■「中小企業テクノフェアin九州2017」キックオフ

今年は10月11日(水)~13日(金)が本番である。ビジネスマッチングのコーディネーターをKTS全会員より公募した結果、17名(内新人2名・再2名)の応募があり、6月2日にキックオフミーティングを行った。主催者の(公財)北九州観光コンベンション協会の担当課長の出席を賜わり、2016年の実績報告と2017年のKTSへの期待と要請を受けた。出展企業の出足も好調である。

出展社の技術情報における紹介先・技術など要望の理解、川下企業への適確な説明と来場確保、事前に会場出展企業を回り来場者に備え、出展社から川下企業に好説明を誘導するなどビジネスマッチング支援力の個人的バラツキの減少も図ることなどを確認した。第55回金沢機械見本市(212社出展、5.17~19)に参加した2名からの誘致の見込み(41社へ要請、出展〇〇が7社:目標3社誘致)を報告した。

微美 創造企業 MEMS SOLUTION



【事業：超精密金型部品の製造】

我社は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとられない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野 計滋(みえの けいじ)
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com http://www.wks-co.com



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231
FAX:093(641)2010
http://www.keisokukensa.co.jp

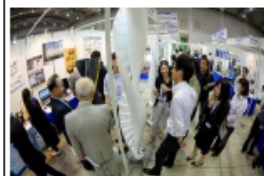
建造物に美を添える”研磨”という芸術



東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.

中小企業テクノフェア in 九州 2017

http://www.kyushu-tf.com/ 同時開催:エコテクノ2017



- 会期:2017年10月11日(水)~13日(金)
- 会場:西日本総合展示場 新館
- ものづくりの中小企業様の発展を応援する展示会。
- NPO北九州テクノサポート様よりビジネスマッチング支援に協力いただいています。

主催:(公財)北九州観光コンベンション協会
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3-8-1
TEL:093-511-6800 FAX:093-521-8845



大光炉材株式会社

平成29年6月15日小林理事が同社を訪問し、小林取締役、平川執行役員、藤崎総務部長からお話を伺いました。戸畑本社には、本社事務所の他、炉材研究所及びファインセラミック製造工場があり、主要製品の炉材製造は、大分と君津で行われています。

■会社の沿革と業況

同社は、1954年4月会社創立以来60数年間、「不定形耐火物」の専業メーカーとして、全国各地に営業所を開設し、大手高炉メーカーを主体に電炉、セメント、化学メーカーなどに製品を納入し続けてきました。



小林取締役、平川執行役員

多くの同業他社が鉄鋼メーカー関連企業であるのに対し、同社は一貫して独立資本を貫き現在に至っていますが、その根拠には、「現場第一主義」、ユーザーに寄り添う気持ちを大切に、技術力と営業力に磨きをかけてきたからに他なりません。

また、海外にも目を向け、欧米、台湾、中国、ロシアなどへは、技術輸出や耐火物原料の調達を行うなど、グローバルに展開しています。

一方経営面では、昨年は、幸い中国の鉄鋼減産や円高の影響で収益は改善されましたが、今後は予断を許さないと考えられているようです。

■今後の展開

同社は、日本初の出銕樋材の国産化に成功しましたが(昭和37年)、その後も自社開発・技術導入を怠らず、国内トップメーカーの地位を堅持しています。更に樋材の一部をブロック化することによる作業工程の簡略化、廃棄耐火材の再利用による環境改善・低コスト化なども進めています。



解析用の電子顕微鏡

また、トンネル炉などに使用される、保温性能を向上させた断熱キャストブルの開発も行っていきます。

他社より一歩先を行く製品を常に作り出すために、研究開発要員は25%を確保していますが、更に技術力を磨くために、九工大他の社会人ドクターコースに積極的に社員を送り込み、5名が修了しています。

次世代の技術開発に向けて果敢に挑戦する素地が出来つつあると思われまます。

■KTSへの期待

KTSには各種専門家がいらっしゃるの、課題が発生した際は相談に乗っていただきたい。



本社社屋

◇会社概要

■本社・工場 北九州市戸畑区牧山新町1-1 TEL:093-871-1631
 代表者 代表取締役社長 小林仁志 設立 1954年4月
 資本金 5,000万円 従業員 198名(正社員)
 ■事業内容 不定形耐火物及びファインセラミックスの製造販売、研究開発
 URL <http://www.taiko-ref.com>

株式会社 ウチダ

平成29年6月19日、石川理事が同社の九州工場を訪問し、大原取締役 統括部長より懇切丁寧はお話を伺った後、工場見学を行った。

■会社の沿革と業況

同社は、1934年内田鉄工所として大阪市内に創業、1964年に自動車用部材等のプレス金型に特化して大東市へ本社を新築移転して現在に至っている。九州工場は2005年10月に稼働、地元のトヨタ九州(株)、ダイハツ九州(株)をはじめ、各社の自動車用部材のプレス金型を各プレス加工メーカーへ納入している。同社は「高張力のウチダ」と称されるように業界でいち早く自動車の強度部材に使用するハイテン材の加工を可能とするプレス金型を開発・提供し、多くの使用実績を積み重ねてプレス加工メーカーから絶大な信頼を得ている。昨年創業50周年の節目に当たり、50年史を刊行しており、当社の社は「いつでも『一歩先んじよ』」に当社の技術力の源があり、技術力を基に品質・コスト・納期のすべてにおいて、「顧客満足度を第一!」に徹しているとのこと。



大原取締役



九州工場生産現場

■今後の展望と課題

技術力を存続・発展させるのは“人”であり、人材の育成・確保こそ企業にとって最重要事項であると同社は考えている。その一環として「北九州産業人材育成フォーラム」に毎年参加して九工大をはじめとした各校の学生インターンシップ受入れを実施して来ている。大原取締役から、「若手社員がインターンシップに来られた学生に『教える・伝える』ことの難しさを体験させることによって、更に技術力研鑽に励みがかった」とのことをお伺いし、「技術・技能の伝承」に絶えず努めている同社の意気込みを感じました。ハイテン材のプレス加工について、現在抗張力100kg/mm²のハイテンまでは対応可能であるが、100~120 kg/mm²については現状のプレス成型では一段と難しい対応が必要であり研究開発を進めているとのことであった。

■KTSへの期待

KTSにはインターンシップで九工大をはじめとした大学・高専との関係構築につき支援して頂いている。ウチダは、年々高度化する金型技術を伝承しつつ、どこにも真似のできない独自技術を維持・発展させていく必要がある。

今後更に金型技術の新規開発課題を検討中であり、この面でも引き続き支援を頂きたいと考えています。



九州工場全景

◇会社概要

■本社 大阪府大東市新田本町12-6 TEL:072-874-3377
 代表者 代表取締役社長 内田祥嗣 設立 1964年4月
 資本金 3,000万円 従業員 120名
 □九州工場 福岡県宮若市宮田542-38 TEL:0949-33-3145
 ■事業内容 自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作・販売
 URL <http://www.uchidanet.co.jp/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからの本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立て下さい。

■会員・賛助会員の会費

・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
 ・賛助会員(法人)入会金:10,000円
 年会費:20,000円/1口
 (個人)入会金:5,000円
 年会費:5,000円/1口

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。地域の企業・大学・行政等の活動内容を出るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。



＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
 技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート
 会報「北九州テクノサポート通信Vol.29」

平成29年7月10日 印刷発行

●発行・編集:NPO法人北九州テクノサポート
 北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室
 TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org

■重藤デザイン20170710-1500